デザートのおかわり7回も

NPO法人さやま保育 サポートの会代表 諏訪きぬ

札幌の知人の保育園を訪ねました。その園は O 歳から 5 歳までの子どもたちが 6 クラスに分かれて縦割りで生活しています。その日は、その月のお誕生の子どもたちを祝うために、2歳から 5歳までの子どもたちがホールでの会食に臨みました。私もあるテーブルに仲間入りして、ランチを共にしました。私の横と前に座っていたのが 3歳の女児 R ちゃんと Y ちゃん。おかわり自由のバイキングなので、食欲旺盛な Y ちゃんは、隣の 5歳児のおかわりを見て、手作りジャムつきパンやひじきご飯をおかわりしていましたが、デザートの蜜柑ゼリーが運ばれてくると、いち早くデザートに切り替え、何とおかわり 7 回。実に自発的能動的にふるまう姿が印象的でした。一方 R ちゃんは、残りのスパゲッティを口に運んであげると、デザートを少し取って来て時間をかけて食べました。そこには "その子に合った時"が穏やかに流れていました。

今年も各幼稚園のご協力をいただき 9月に見学会を終えました







〇園児たちの活動などを間近で見せていただき、園内での様子がよくわかりました。園長先生 の熱意が伝わってきました。

〇ある園に似ていると聞いていました。同感な部分と全く違う部分があり、見て良かったと実感しました。園舎がとにかく素敵で子ども達が自由に遊ぶ姿が印象に残りました。沢山、芸術的なものがあり、子どもの想像力も自然と向上するだろうなと思いました。

〇自由に園内を見学する時間もあったのでよかったです。

奥富プレイスの本棚でみんなを待ってるよ!



たまごのあかちゃん

(かんざわとしこ・ぶん/やぎゅうげんいちろう・え)

たまごのなかでかくれんぼしているのはだ~れ? ぴっぴっぴ よちよちよち にょろにょろにょろ・¶

しろくまちゃんのほっとけーき (わかやま けん)

ふらいぱんと、ぼーるとおおきなおさらと、え~っと、たまごとぎゅうにゅうと・・・・さぁ なにができるかな・・・



秋も深まり、卒所児親の会のボランティアも・・・

今年も奥富の稲刈りは終わりました。春から 田んぼで忙しく働いていたカルガモも今はひ と仕事を終え、プレイスお隣の小学校のプー ルでのんびり泳いだりひなたぼっこをしたり 来年の春に備えているかのようです。



プレイスでも 9 月、出産という大仕事を終えたお母さん達に 母体ケアのための骨盤体操を行いました。まだ 1 歳に満たない子どもを、手元からわずかな時間でも離してしまうお母さんの不安はいかばかりだろう・・・と案じました。14 人の 0 歳児にスタッフ 6 人、 $1\sim2$ 歳児 3 人。保育所では 0 歳児

3人に保育士1人の割合ではありますが、

う~ん。困った!お母さん達には安心して講座に参加して楽しんでもらいたい。 そこで "卒所児親の会"の仲間に声をかけました。皆さん "いいですョ!!" "私も助けられましたから、お役にたてるのなら"。 なんて心豊かな



癒しのボランティア

まったり~骨盤体操

お母さん方でしょう!!本当に、ホントウに心がじゅわーっとあったかくなるような思いでした。そのお蔭で1人のお子さんに1人のボランティアさんがつくという結果になりました。担当する赤ちゃんも決め、たっぷりとふれあい

の時間ももてました (講師の遅刻で、たなぼた式おまけつきに!)。 終わった後のボランティアさん "可愛かったァ" "あの赤ちゃんのにおい!忘れられない・・・"。 大泣きしていたのは2歳のお姉ちゃん達でした。ホッコリの1日、なん

ともほのぼのしたひとときでした。



